



私が小説を  
書くのは  
生きられない  
人生の代わり、  
許されない  
人生の代わり  
——パトリシア・ハイスミス

『太陽がいっぱい』『キャロル』

『アメリカの友人』を生んだ人気作家、

パトリシア・ハイスミスの謎に包まれた作家人生と素顔に迫るドキュメンタリー

欧米ではアガサ・クリスティーと並ぶ人気を誇る、サスペンス、ミステリー作家、パトリシア・ハイスミス。トルーマン・カポーティに才能を認められ、『太陽がいっぱい』『キャロル』『見知らぬ乗客』『アメリカの友人』などの映画史に残る名作の原作の数々を生み出した。中でも偽名で発表した『キャロル』は自伝的小説であり、1950年代のアメリカでハッピーエンドを迎えた初のレズビアン小説だった。しかしそんな栄光を手にしながらも、ハイスミス自身は、女性達との旺盛な恋愛活動を家族や世間に隠す二重生活を余儀なくされていた。

本作ではハイスミスの生涯を、生誕100周年を経て発表された秘密の日記やノート、貴重な本人映像やインタ

ビュー音声、タバア・ブルーメンシャインをはじめとする元恋人達や家族によるインタビュー、そしてヒッチコックやトッド・ヘインズ、ヴィム・ヴェンダースらによる映画化作品の抜粋映像を織り交ぜながら、彼女の謎に包まれた人生と著作に新たな光を当てるドキュメンタリーである。『ゲーム・オブ・スローンズ』シリーズで知られるグウェンドリン・クリスティーのナレーション、そしてフランスのギタリスト、ノエル・アクショテが書き下ろし、ビル・フリゼールとメアリー・ハルヴォーソンが演奏に参加した楽曲に導かれ、現代ますます再評価の高まる女性作家の、クールな仮面の下に隠された、惚れっぽく、傷つきやすく、愛を渴望し続けた、知られざる素顔が明かされる。



ハイスミスの親戚たち



タバア・ブルーメンシャイン(アーティスト)



マリジェン・ミーカー(作家)



モニーク・ビュフェ(翻訳家)

PROFILE PATRICIA HIGHSMITH  
パトリシア・ハイスミス

1921年1月19日、アメリカ、テキサス州フォートワース生まれ、ニューヨーク育ち。バーナード・カレッジ在学中より短編小説の執筆を始める。1950年に発表した長編デビュー作『見知らぬ乗客』でエドガー賞処女長編賞を受賞し、本作は翌年アルフレッド・ヒッチコックにより映画化。1952年、クレア・モーガン名義で自らの体験を基にしたロマンス小説『The Price of Salt』(のちに『キャロル』と改題)を刊行。その他の主な著書に「トム・リプリー」シリーズ、『水の墓碑銘』、『殺意の迷宮』など。1962年よりヨーロッパに移住。1995年、スイスのロカルノで死去。74歳没。



『キャロル』  
訳: 橋沼珠子  
定価: 820円+税  
発行: 河出書房新社(2015年)



『太陽がいっぱい』  
訳: 佐宗純夫  
定価: 820円+税  
発行: 河出書房新社(2016年)



『アメリカの友人』  
訳: 佐宗純夫  
定価: 880円+税  
発行: 河出書房新社(2016年)



『見知らぬ乗客』  
訳: 白石朗  
定価: 880円+税  
発行: 河出書房新社(2017年)

BIBLIOGRAPHY

監督・脚本: エヴァ・ヴィティヤ ナレーション: グウェンドリン・クリスティー 出演: マリジェン・ミーカー、モニーク・ビュフェ、タバア・ブルーメンシャイン、ジュディ・コーツ、コートニー・コーツ、ダン・コーツ  
音楽: ノエル・アクショテ 演奏: ビル・フリゼール、メアリー・ハルヴォーソン 2022年/スイス、ドイツ/英語、ドイツ語、フランス語/88分/カラー・モノクロ/1.78:1/5.1ch 原題: Loving Highsmith 字幕: 大西公子  
後援: 在日スイス大使館、ドイツ連邦共和国大使館 配給: ミモザフィルムズ  
© 2022 Ensemble Film / Lichtblick Film mimosafilms.com/highsmith/

11.3 金祝ロードショー  
ムビチケオンライン ¥1,500(税込) 発売中!

J&R新館 東横町GAP並みNOWAビルB1F  
新宿 シネマクリテ 03(3352)5645

渋谷東映プラザ7&9F  
Bunkamura ル・シネマ 050(6875)5280 www.bunkamura.co.jp

吉祥寺PARCO B2F  
UPLINK 吉祥寺 0422(66)5042

彼女が望んだもうひとつの人生は小説の中にあった

A FILM BY  
EVA VITJUA

—  
LOVING HIGHSMITH  
パトリシア・  
ハイスミスに  
恋して

WITH THE VOICE OF GWENDOLINE CHRISTIE  
THE LIVES AND LOVES OF PATRICIA HIGHSMITH



With Marijana Mlakar, Minsque Ruffin, Faben Hummeroth, Joly Coates, Courtney Coates, Dan Coates  
Written and directed by Eva Vitjua. Producers: Franziska Bender, Maurinus Baenke Drex, Dark-Ludwig Bettinger.  
Cinematography: Sirit Klug. Editing: Rebecca Troch. Music: Nob Akihara. Sound Engineer: Juliana Vasi. Sound Design: Jascha Vahi. Mixing: Alexander Weuffen.  
Color Grading: Felix Hülken. Compositing & Animation: Fabian Kaiser & Fabian Engler. Line Producer: Ino Bettinger. Commissioning Editors: Kathrin Brinkmann (GZM/ARF),  
Ute Augsburgner (DRF), Silvana Bessina Sigolini (SRF), Dennis Chausch, Barbara Gasser (ZooRadio). Broadcast: An Ensemble Film Produktion in cooperation with Lichtblick Film, GZM, ARF, SRF.

監督・脚本: エヴァ・ヴィツィア / 出演: マリジェーン・ミーカー、モニーク・ヒュッフェ、タベア・ブルーメンシュタイン、ジュリア・コーツ、コートニー・コーツ、ダン・コーツ  
2022年ノイス、ドイツ語、英語、ドイツ語、フランス語 / 88分 / カラー / モノクロ / 1.78:1 / S-1ch  
原題: Loving Highsmith 字幕: 大西奈子 後援: 在日スイス大使館、ドイツ連邦共和国大使館 配給: ミモサフィルム  
© 2022 Ensemble Film / Lichtblick Film  
mimosafilms.com/highsmith/

トルーマン・カポーティも認めた才能

『太陽がいっぱい』『キャロル』『アメリカの友人』を生んだ作家パトリシア・ハイスミス  
死後に発表された秘密の日記を通して初めて明かされる作家の素顔とは

